

令和7年度

幼稚園だより 5月号



文京区立千駄木幼稚園

温かな支え

園長 篠澤 恵理

進級して間もない4月中旬頃、年中組の部屋に行ってみると、自分で名札を付けようとして何度も試してみる子がいました。その横には、数人の子たちが心配そうに見守っています。少しして名札が付けられると、みんなが拍手をして、ほっとした笑顔になりました。諦めずに何度も繰り返し取り組む姿が素敵でした。そして、友達がやり遂げるまでじっと待ち、最後まで見届ける子どもたちにも感激しました。これまでの園生活の中で、温かな支えをしたりされたりする体験が積み重なっていることを感じました。

さて、子どもたちが、目当てに向かって努力している姿には、励ましの言葉をかけやすいのですが、繰り返し伝えてもなかなか身に付かないと感じたことについては、「まだ出来ないの?」「何度も伝えているのに。」と、否定的な言葉をかけてしまうことがあるかもしれません。また、新しい一年が始まった今の時期は、「昨日はできたのに。」「進級したのに。」など、成長を期待するあまりに求めることが大きくなりがちです。しかし、否定的な言葉や頭ごなしに怒ることは、子どもの心になかなか響いていかないものです。子どもたちは、新しい一年が始まり、「大きくなりたい。」という気持ちと、「(なりたい自分像はあっても) ついつい。」という動きとの間を行きつ戻りつしているような姿も見られます。「今やろうとしているのよね。」「自分で頑張れるって信じているよ。」「あの時みたいにできると嬉しいな。」など、子どもたちの“大きくなりたい気持ち”に働きかけていくことが、子どもたちの成長につながっていくことと思います。子どもたちが自分でできることをそれぞれのペースでゆっくりと積み重ねていかれるように「温かな支え」を大切にしていまいりましょう。



【よーいどん!】年少組
手作りのこいのぼりを持って



【ねこさん なにがすき?】
ねことねずみの追いかっこ



【大型遊具の構成遊び】
組み立て方を考えて